

PCPSは、心理学と統計学の手法を統合し、あなたの精神的資産である基礎資質群の活用状況と、その資産の運用に深くかかわる、現在の思考特性と行動傾向を推定する、これまでにないユニークなメンタル・プロファイリング・システムです。
 PCPSは、現在のあなたのメンタル・コンディションを的確に理解するための情報を提供し、分析結果を参考にすることで、より効果的な自己資質の活用と、望む成果を実現する上で有効な思考、行動方法の変革や実行を支援するものです。
 各データが示す数値や内容について正しくご理解いただき、データの実生活での有効活用にお役立て頂くためにも、このガイドを参考にし、分析結果をより実用的にご理解いただきますようお願いいたします。

基礎資質群について

ポイント： 各資質の数値が大きく、資質全体の活用割合の均整が取れている(正五角形を形成する)ほど良好な資産活用状態です。

基礎資質群とは、人生のあらゆる分野において、持続的に成果を創り出す上で必要不可欠な基礎的精神力であり、成果創造に直結する要素であるため、「創造の源」＝メンタル・アセット(心の資産)と呼ばれるものです。
 これらの基礎資質は、人が生来、潜在能力として保有しているものであり、これら5つの資質の活用率を上げ、バランスを整える事で人は、確実に成果を創り出す可能性を高める事が出来ます。

5つの基礎資質

- ①目標管理能力: 実現、達成したい願望や目標を明確かつ具体的に思い描き、さらに、その実現や達成を決意する時に使う資質
- ②計画・行動力: 決意した事柄に対し、適切な時間配分(計画)を行い、それを具体的な行動として実行する際に必要な資質
- ③他者理解力: 他者に関心を向け、理解、共感し、または、人全般に関する様々な情報を的確に把握する時に要する資質
- ④自己表現力: 自分の意思や感情を適切な言葉や態度に表わし、他者に正しく自己を理解されるように伝達する際に要する資質
- ⑤忍耐・持続力: あらゆる状況下で精神的安定を保ち状況判断と適応を行い、忍耐強く物事に取組み現実を確実に進展させる資質

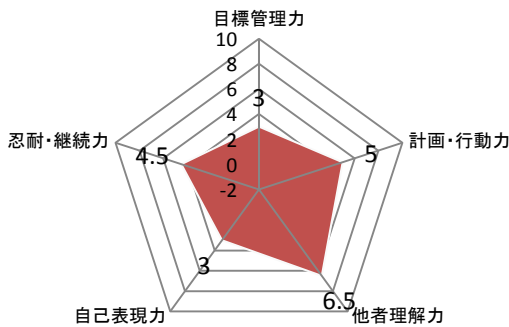
「基礎資質群のバランス」の見方

あなたの基礎資質群の現在の活用度合いを項目ごとに-2から+10の範囲内でグラフ化しています。

各資質は、数値が大きい程、活用度が高いことを示しています。

数値と資質活用レベルを理解するための目安は、次の通りです。

-2~0未満	抑制	資質が活用ではなく、抑制されている状態である
0~4未満	低調	資質の活用は不十分な状態にある
4~8未満	好調	資質は、よく活用されている状態にある
8~10	活性	資質は、盛んに活用されている状態である



バランス指数について

バランス指数は、基礎資質群のバランスを-50.00から100.00の範囲の数値で示すものです。数値が100.00に近いほど均整がとれている事を示し、概ね+40以上が良好な状態です。

*5つのデータのバランスが大切

個々の数値の活用度が高い事に加え、各資質の活用度合い(数値)の均整がとれている事が、このデータでは重要です。

基礎資質群は、偏りなく機能してこそ、良い成果を生み出します。

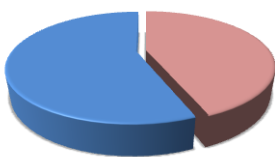
各項目の現在の数値の中で、他と比較し、低い数値を示している資質の活用度合いを上げる事が、更なる成果を創り出す事につながる、とご理解ください。

*マイナス・データが表れたら要注意

特定の項目の数値が、(一値)を示している場合、その資質について抑制する心理が働いている状態を示しています。

基礎資質の抑制状態は、成果を創り出す事を、阻害する要因の一つとなり、また、ストレスの原因ともなります。もし一値を示す項目がある場合は、意識してその項目の改善(資質活用を促進する事)に努めましょう。

「基礎資質群の活用状況」の見方



基礎資質全体(潜在力)に対し、現時点の活用割合を推定するのが「基礎資質群の活用状況」です。このデータは、現在の活用状態が、保有する資質全体の総量に占める割合を推計したもので、更なる潜在資質の蓄積量を推し量るものです。

あなたの現在の資質活用が、本来の能力に対し、どの程度活用されているかを、円グラフとパーセントを用いて表示すると共に、同様に未活用量を推定します。

この数値により現在の活用状況が、資質総量に占める割合を比較する事が可能です。自分自身の基礎資質群の総量(潜在性)を知る上で参考になる情報です。

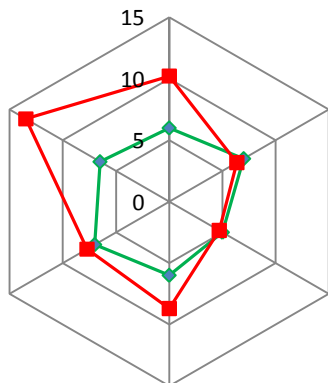
※あなたの潜在能力のストック量(蓄積)の大きさ(余地)を把握し、将来、活用可能な資産の大きさ(余力)を自覚する事で、自分自身の「器(可能性)」の大きさをつかみます。

基礎資質群活用状況についての解説

基礎資質群のバランスと全体の活用状況を、過去データとの照合から一般的な評価、推定可能な原因や影響について解説しています。ここで示される解説は、過去のPCPSが取得した蓄積データを基に分析するもので、必ずしも、あなた固有の状態について特定するものではありません。現在の自分自身を一般的に考察するための参考情報としてお役立てください。

「思考・行動特性分析」の見方

ポイント: 無意識思考(赤)と実際の行動(緑)の一致度が高いほど、より成果や成功を実現しやすい状態です。



思考・行動特性分析は、現在の「**潜在思考の関心特性**」と「**実際の習慣的行動の状況**」を数値化します。人の個性を構成する主な6つの性質について、強弱を基準に、赤は、潜在思考の関心度の強弱、青は、現在の実際の習慣的行動傾向の強弱を推定します。分析する6項目の意味付けは、以下の通りです。

- ① 主導性 自分自身の存在を通じ、他者を導き、良い影響を与えられるような性質
- ② 協調性 周りの人と進んで良い関係を築き、他者と調和する事を大切にする性質
- ③ 創造性 新しい物や独自の物を生み出したり、発想する事を好む(得意とする)性質
- ④ 自発性 自分の考えや能力を信頼し、他者に影響されず、主体的に行動する性質
- ⑤ 柔軟性 他者の考えや方法を尊重し、受入れ、それに従う事を可とする考えや性質
- ⑥ 帰属性 自分の周りの人や組織を重視し、自分を捨ててでもそれを保護し大切にする性質

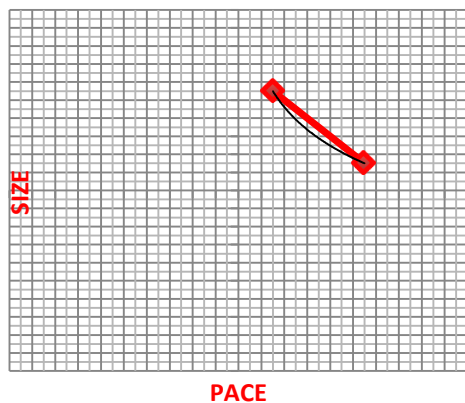
これらの要素は、人の「個性」を形成する主要な要素です。赤いラインで表される数値系は、あなたの現時点の各領域に対する潜在意識(あなたの内心が各項目について持っている関心や興味の度合い)を示し、緑のラインは、現在、各領域における実際の習慣的行動傾向の状態を示しています。赤のラインと、緑のラインが一致している事は、思考と行動が一致している事を示し、一致していない場合、その領域の思考と実際の行動の間には、数値が示すレベルの「かい離(ズレ)」が生じている事を示します。

数値を参考に、現状を理解すると共に、各領域に対するあなたの関心度(赤)や行動(緑)を調整する事で、自分自身の思考と行動のレベルを一致させる手掛かりとして利用してください。

※思考と行動にずれがある場合、それを一致させる(調整する)という事は、どちらかを強化するか、または、弱化するかのいずれかです。

「エネルギーと速度の状況」の見方

ポイント: 数値が0:0で安定している時、マイペース、マイサイズで最も快適な気分がかつ最良の成果が実現可能です。



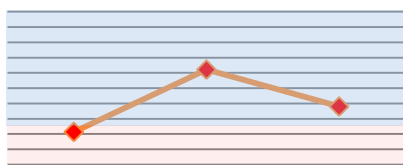
思考や感情をエネルギーとみなし、一定の周期<周波数>と<容量>があるという前提で「大きさ(SIZE)」と「速度(PACE)」の状況を推定しているのが、「エネルギーと速度」の状況です。

赤のポイントと、または、ポイント+ラインで示されているデータが、現在のあなたのメンタル・エネルギーの速度とサイズの活動エリア(振幅状況)を示しています。ポイント(点)で示されている場合、あなたのエネルギーは、ほぼその位置で安定していることを意味し、ポイント+ラインで、表示されている場合、あなたのエネルギーと速度は、表示された範囲内で変動(振幅)していることを示しています。

※ラインに黒の曲線が付加されている場合は、数値に誤差があり信頼性が落ちる事を示します。マイペース、マイサイズを実現している場合、座標軸は中心(0:0)で安定しています。本来のペースや、サイズより、現在の活動が、速い、または、大きい場合、表示は、+の領域に現れます。現在の活動が、本来より、遅い、または、小さい場合、表示は、-の領域に現れます。緑の枠が示す範囲内にある場合は、効果的なエネルギー活用が行われていると判断できます。黄色い枠や、それ以外の領域にエネルギーの状態がある場合、速度、サイズ、それぞれの状況を調整し、緑の枠の範囲内に位置するように修正(ペース調整、または、サイズ調整)を行う必要があります。

「メンタル・ヘルスの状況」の見方

ポイント: 3つのデータが、ブルーの領域にある時、あなたは、精神的に、健全でバランスのとれた状態にあります。



PCPSでチェックした、すべてのデータに統計的な処理を加える事で、あなたの現在のメンタル・ヘルス(心の健康状態)を ①バランス(集中と解放のバランス)、②意欲の状況、③ストレスの負荷状況について推定します。

これらの各数値が、ブルーのゾーンにある時に、メンタルは一定の健全な状態であることを示し、それ以下の場合、改善を図る必要がある状態であると推定されます。

- * バランスが悪い場合は、生活における緊張と解放(リラククス)のを調整しましょう。
- * 意欲が低い場合、改めて、有意義な目標や、将来ビジョンを明確にするようにしましょう。
- * ストレス負荷が高い場合、具体的な「気分転換」を行い、気持ちをリセットするようにしましょう。

思考・行動特性分析 解説

思考・行動特性の解説は、現在の状態を、予め分類された9タイプ(タイプA~タイプI)から、データ上、該当するタイプを選択し、6つのポイントで解説するものです。これらの情報は、過去のPCPS被検者から得た統計学上のデータを元に一般的な見解としてまとめられたもので、必ずしもあなた固有の情報ではありません。あなたの現在の思考と行動傾向の一般参考情報として提示するものです。

自分自身の今現在の思考と行動の傾向を客観的な視点で再検証するための解説としてお役立てください。